

寄稿

「エネルギーの地域自給へ」

小田原市長 加藤 憲一



かとうけんいち
1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

東日本大震災によって私たちが暮らしや経済の在り方を根本的に問われている、最大の課題が、エネルギーです。福島第一原発から300 kmも離れていながら、計画停電と放射能汚染による地域経済への大打撃と生活不安を被ったことで、エネルギーが自分たちのコントロール外にあり、かつ生

命への大きなリスクを含んでいることに、誰もが気付いたのでした。ここで大事なことは、国策としてのエネルギー政策の適正化を強く求めるのみならず、安全な水や食料を地域で自給するように、エネルギーも原則として地域での自給を、私たちは目指すべきだということです。いのちを支

えるために必須なものは、基本的に各地域で自給すべきなのです。この間、私も積極的に動いています。環境エネルギー政策研究所の飯田哲也さんを市の行政戦略アドバイザーに迎え、7月14日、公開アドバイザリーを実施。また、7月24日には再生エネルギーに積極的に取り組む高知県梶原町の前町長・現町長を訪問。7月31日には茅野市で開かれた「みんなのエネルギー環境会議」にて、地域の立場から意見発表。8月20日からは、「小田原まちづくり学校」にてエネルギー地域自給を市民の皆さんと学びます。今後

私が変わる・小田原が変わる
おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)
小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
(月・水・金 10:00~17:00)
<http://www.katoken.info>

エネルギー自給を目指す市民会議のような場が立ち上がればと考えています。
小田原には、かつて久野川の水流から電力を作り、製材に使っていた歴史もあります。豊富な水や木材などの地域資源を基に、多くの市民の皆さんの参画と工夫で、小田原ならではのエネルギー自給を目指しましょう。